

とちぎ建設技術センター

# 今後も社会資本整備支援へ 創立50周年130人が盛大に祝う

とちぎ建設技術センター(印南洋之理事長)の創立50周年記念祝賀会が、19日に宇都宮市内のホテルで開催。センター職員のほか、福田富一知事ら県職員、県内各市町、県内建設関連団体などから約130人が出席し、同センターの50周年を盛大に祝った。



印南理事長



福田知事

とちぎ建設技術センターは、30年度に創立50周年の節目を迎えたことから、これまで同センターに協力した関係各者に感謝の意を表するとともに、今後の同センターの発展を祈念するため、創立50周年記念祝賀会を開催することとなった。

祝賀会の冒頭、印南理事長は、「50年前の我が国は高度成長期にあり、建設事業の推進に向けて、建設コンサルタント業務のための機関として当団体を設立。昭和56年には県の外郭団体に位置づけられ、積算業務・品質試験・研修事業などを業務として実施。その後

も各種業務を請け負うこととなり、建設業を総合的にサポートする機関へと組織を拡充してきた。当団体の歩みは平たんなものではなかったが、災害発生時にも力を尽くし、信念を持って県土整備に努めてきた。社会資本整備を通じ、県の発展に貢献できたことは当団体の誇り。土木建築技術者に与えられた使命は重大であり、当団体としても従来に増して技術の研さんを重ね、安定した経営に努め、社会資本整備を

これからも支えていく」と述べ、50周年を節目に、新しい飛躍を遂げられるよう、職員一同一丸となって職務に努めていくと、あいさつを行った。

来賓からは、福田知事、岡部正英佐野市長、五十嵐清原県議会議長、全国建設技術センター等協議会の手島健司会長が祝辞を述べた。

続いて祝宴に移り、とちぎ建設技術センター評

議員の古口達也茂木町長の発声で乾杯。センター創立50周年を盛大に祝った。この後、赤上尚副理事長がセンター50周年のあゆみを解説。祝賀会は大いに盛り上がった。

今回の式典では、とちぎ建設技術センター主催の研修に協力した各団体に対する感謝状の贈呈式も行われ、印南理事長から各団体の代表へ、感謝状と記念品が手渡された。

感謝状が贈呈された団体は次の通り。

- ▽県建設業協会
- ▽県舗装協会
- ▽建設コンサルタント協会関東支部栃木地域委員会
- ▽県測量設計業協会
- ▽県生コンクリート工業組合
- ▽県鉄筋工事業協会
- ▽県地質調査業協会
- ▽県建築士事務所協会
- ▽県設備設計事務所協会

